

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日:令和6年 11月 11日

公表:令和6年12月

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス十色

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			
	2	職員の配置数は適切である	100%			基準省令に則り適切な配置をしております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	86%	14%	現利用者には必要がないが、状況に応じて対応が必要。	現状必要な利用児はおりませんが、受け入れる際には環境を整備させていただきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%		個々に業務評価を実施し個人面談を行い、それぞれの改善点等から目標の設定をしております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			職員の知識にばらつきがでないよう、研修に参加しております。また、外部講師を招いた研修を定期的 to 実施しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%		他所で行った発達検査等を保護者様から参考に頂いております。支援内容の検討に使用をさせていただいております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			集団や個別など活動内容の見直しは適宜実施しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%		記録ノートや申し送り等で支援にあたる職員が把握できるように努めております。また、職員ミーティングで共有するよう努めております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			定期的に保護者様との面談を行い、モニタリング内容を反映できるよう、計画書の見直しを行っております。今後も継続してまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			児童発達支援管理責任者が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%			保護者様の同意をいただき、必要に応じて連絡調整しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	42%	58%	現状では必要を認めず。該当者なし	現状では医療的ケア時の受け入れは行っておりません。受け入れを検討する場合は主治医等との連絡体制を整備いたします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%			保護者様の同意を頂き、必要に応じて関係機関との情報を共有しております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	86%	14%	対象児童が居ないため回答をいいえにしたが、来期卒業する対象児童がいるので、対応を柔軟につなげられると思われる。	移行する作業所への情報提供等は保護者様の同意を得て行わせていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%			発達障害支援センター等からの研修には積極的に参加をし、その際の助言等は職員間で共有できるよう工夫しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	29%	71%	現状活動はされていないが、今後は交流も検討を提案していきたい。	近隣の放課後デイとの交流は行っておりますが、児童館との交流は現状では行っておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	86%	14%	管理者が参加をしていて、報告等を受けている。	人員配置に留意しながら、管理者が参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			連絡帳やLine、電話、リモートなど利用してお会いする時間が少ない保護者様とも連絡を取り合えるように心がけております。いつでも気軽にご相談ください。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	57%	43%		現状は個別にて相談をさせていただいておりますが、今後開催を検討してまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			契約時にお伝えしております。ご不明な点は、いつでもご連絡ください。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			今後も継続して行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	57%	43%	保母の会や保護者会などは開催していないが、年に一度保護者を招いて年間活動報告を行う機会を設けておりその時参加保護者同士の交流はある。	年末に一年間の思い出を保護者の皆様にみていただけるようにスライドショーをさせていただいております。簡易的に顔合わせを行える会を検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	86%	14%		1年に1回十色通信を発行いたしております。
	35	個人情報に十分注意している	100%			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%		各関係機関との連携は必要に応じて担当者とさせていただき、行事ことは利用児童のみで開催させていただいております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	86%	14%	該当者なしのため	対象者がいないため実施していませんが、必要に応じて実施いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	57%	43%	いいえとしているが対象者が居れば連携できる体制はある。	保護者様にお伺いしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			全職員が閲覧できる環境を整えております。